



学校通信 おおぼる

令和7年7月1日
大原小学校校長室
文責 山内 哲也



小中一貫・連携教育(6年生)

現在、北九州市では小中一貫・連携教育を進めています。小中一貫・連携教育とは、小・中学校の9年間を通じて、学力・体力の向上や小中ギャップの解消、特色ある学校づくり等を目指すものです。

その取組の一環として、5月29日に上津役中1年生と大原小・上津役小6年生で小中合同防災教室を行いました。ゲームや質問タイムもあって、子どもたちは、中学生との交流を深めることができました。また、中学校への不安も少し解消できたようです。今後は、中学校の行事の見学や出前授業等も行う予定です。



<中学生と防災ババ抜きを楽しむ様子>

環境学習プログラム(2年生)

6月20日、環境学習プログラムで到津の森公園に行ってきました。到津では、獣医や飼育員の仕事の紹介、ゾウやライオンなど動物について解説、エサやり体験などがありました。子どもたちは、興味津々に動物たちを観察していました。



<ゾウの解説を聞く様子>

環境アクティブ・ラーニング(4年生)

6月4日、山田緑地といのちのたび博物館に行きました。この学習は、北九州市に残る自然について学び、触れ合う中で、身近な環境や生き物の面白さを感じ、大切にしようという心を育むことを目的として実施しています。



<池の中の生き物を見る子どもたち>

社会科見学(5年生)

6月19日、日産自動車工場や北九州空港、消防航空隊などに社会科見学に行ってきました。子どもたちは、見学を通して、そこで働く人の願いや気持ちなどを考えることができたようです。



<日産自動車工場での見学の様子>



<消防航空隊での記念撮影>